

H 2 4 四国地方公共工物品質確保推進協議会幹事会の開催について【議事要旨】

- 日 時：平成24年6月6日（水） 13:30～15:30
○場 所：高松サンポート合同庁舎 13F会議室（1306, 1307）
○出席者：8省庁等、4県、42市町村、3特殊法人等 全86名

◆議事内容

- 「四国地方公共工物品質確保推進協議会」設置要領の改正について
 - ・委員会名簿等の改正
- 平成23年度までの取組状況について
 - ・協議会の活動状況について
 - ・公共工物品質確保に関する進捗状況
- 平成24年度実施計画（案）について
 - ・平成24年度協議会開催に向けてのスケジュール
 - ・平成24年度実施計画（案）
- ブレインストーミング
 - ・品確に関する5テーマでの意見交換

◆承認事項

- ①平成24年度実施計画（案）に基づき、来年1月開催予定の「協議会」に向け、スケジュール（案）通り作業を進める。
- ②平成24年度実施計画（案）
 - ・各県の既存協議会と連携し、各県単位できめ細かい自治体支援活動を実施（継続）
 - ・自治体支援（工事検査・成績評定の臨場）の活用推進（継続）
 - ・国・県等の既存研修制度の活用推進（継続）
 - ・国・県の職員等を学識経験者として活用推進（継続）
 - ・国と県による市町村キャラバンの実施及び、総合評価の先進自治体の実施事例紹介（新規）

◆会議の全景



◆ブレインストーミング

《テーマ毎の主な意見》

テーマ1：幹事会のあり方について

- ・議会を避けての開催。(以前は8月開催)
- ・ブロック単位での開催(分科会)
- ・幾つかの自治体で事務組合的な体制を組む(輪番制) 等

テーマ2：予定価格の事後公表について

- ・事後公表は、職員への様々な負担が考えられる
- ・事後公表では、積算システムがない小規模業者の入札参加意欲がなくなるのでは
- ・事前公表では、積算能力に問題のある業者の施工も考えられ、品質確保が懸念される
- ・県と市町村では同じ業者の入札も多く、制度が大きく違うと混乱が生ずることから、同一県内ではある程度統一を図った方がよい 等

テーマ3：「工事検査・成績評定の臨場」の活用推進について

- ・土木工事だけでなく、建築や電気機械設備の工事についても臨場があればよい
- ・検査予定日は余裕を持って事前に周知してほしい(旅費、仕事の調整)
- ・監督員の臨場もあればよい(事務職員が監督・検査をしている市町村もあるため)
- ・小規模工事の臨場があれば参考にしやすい。検査ポイントを纏めたものがあればよい 等

テーマ4：国・県の職員等による学識経験者としての活用推進について

- ・そもそも総合評価ができていない(時間が掛かる、手間、早く着工したい)
- ・香川県は、多い市で年10回程度、職員を派遣(日程調整には時間をかけない)
- ・特別簡易型は評価項目が同じであるため、工事一覧を見てもらうことで意見聴取した扱いにする方法もある
- ・NPOに有料で委託しているところもあるが、国・県の職員は無料 等

テーマ5：市町村における公共工事の品質確保に向けた新たな活動について

- ・スキルアップのため段階検査の臨場を希望(技術力不足、技術職員不足)
- ・国の事務所には相談窓口(技術副所長等)があるが、電話しにくい&PR不足
- ・簡易型はスムーズに進むが、標準型は入札者からの質問等有り構えてしまう 等

《ブレインストーミングのアンケート》

84%が「大変良かった」「良かった」と回答

(自由意見)

- ・今後も意見を言える場が必要
- ・テーマや意見を事前告知した方が議論が深まる
- ・国や県、他自治体の意見を聞けてよかった 等

